

徳之島の外来種と希少種

～島の自然と暮らしを守るために私たちにできること～

近年、よく耳にする“外来種”。世界自然遺産を目指すうえでも外来種対策は大きな課題となっています。実は、外来種は私たちの暮らしにも大きな関わりを持っており、ときには安心安全な住民生活を脅かすこともあります。そんな外来種への対策と、世界自然遺産の島としての将来を一緒に考えてみませんか？

日時：2019年6月29日(土) 13:30～16:00
場所：天城町役場4階ユイの里ホール(入場無料)

第一部

趣旨説明

城ヶ原貴通 (沖縄大学)

「徳之島での希少種保全の現状と
外来種対策の必要性」

基調講演

五箇公一 (国立環境研究所)

「希少種を外来種から守る
～島嶼生態系における外来生物対策～」



五箇公一

国立環境研究所
生態リスク評価・
対策研修室室長。
近年は、テレビ
や新聞等マスコ
ミを通じて生物
多様性・生態リ
スクの啓蒙にも
つとめる。

第二部

パネルディスカッション

テーマ

「徳之島の自然と暮らしを
守るための外来種対策」

パネリスト

五箇公一 (国立環境研究所)
亘 悠哉 (森林総合研究所)
宮本旬子 (鹿児島大学)
岩浅有記 (環境省
沖縄奄美自然環境事務所)

コーディネーター

城ヶ原貴通 (沖縄大学)

共 催：天城町、環境研究総合推進費4-1707・4-1804、外来ネコ問題研究会
後援(予定)：環境省沖縄奄美自然環境事務所、鹿児島県、奄美群島広域事務組合
徳之島地区自然保護協議会、徳之島エコツアーガイド連絡協議会、沖縄大学